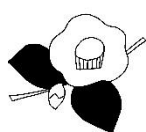


1年生学年だより



豊中市立第五中学校 2024年1月29日(月) No.26

～3年生への贈り物制作～



今学期の大きな行事の1つとして、「ありがとうを歌う会」があります。そこでは歌を披露し、日頃の感謝を伝えるとともに、卒業する3年生へ向けて、各学年から贈り物を作ります。今年も1年生からは、体育大会の応援旗と卒業生へのメッセージを書いた「しおり」をプレゼントすることになりました。12日、19日の2時間の学活では、みんなでしおり作成に取り組みました。

表は応援旗。裏はメッセージになっています！



タブレットやプリントを利用しながらメッセージを考えます。

真剣に切っていますね！

ラミネートしたら、ギリギリのラインをはさみで綺麗に切ります！



みんなの思いを込めて、丁寧に仕上げてくれたしおりは、世界に一つだけのとても素敵な贈り物になるでしょう。3年生も喜んでくれるといいですね。

いのちの大切さを考える授業



『生命の尊さ』についての講演を聞きました。

1月25日(木)



『いのち』の大切さについてのお話を誕生学の専門家である澤田貴美子先生よりお話を聞きました。小学校の時にも同じような話を聞いたことがあった人も、その時はどこか他人事のように思っていたと思いますが、今回は自分事としてとらえてしっかり聞いていたと思います。みんなの感想を一部ですが紹介します。

<生徒の感想>より ※一部抜粋

- 赤ちゃんが生まれるまでにとってもたくさんの努力をしているのはあまり知らなかったから、知れてよかった。一人ひとりがうまれてくること自体が奇跡なのに、これまで生きてくることができたのはもっとすごいことなんだなと思ったし、そう考えると、自分が毎日健康に生きられているだけですごいことなんだなと思った。～中略～今日の講演を聞いて自分を自分で守れるような人間になりたいと思ったし、困ったことがあれば、まわりに助けを求められるようになりたいと思った。
- 前略～中でも驚いたのが、お母さんのおなかの中にいる赤ちゃんが食事をするために練習していることや、汚れた水をきれいにするために飲んでいることです。誰から教わったわけでもないのに、自分で考えて行動していることに興味しました。
- 前略～お腹にいる時はお母さんから栄養をもらって成長していくから、人が生まれるのは、人と人のつながりなんだなと思いました。赤ちゃんを産むとき、お母さん一人だけじゃなくて、色々な人の支えによって赤ちゃんが生まれることがわかりました。～中略～赤ちゃんを授かったり育てたりするには、お金もかかるだけでなく人間を育てるには責任があることを知りました。人間は最初はいろんな人と関わり成長していくけど、いつか一人になった時、ちょっとの時間でもネガティブな気持ちになる時があるから、生きていくのは難しいなと思いました。男女で心も体も変わってくるから複雑だなと思いました。時代の流れていろいろ変わるけど、やっぱり生きるのは楽しいなと感じました。
- 前略～自分が今ここに健康に元気にいられるということはとてもすごいことなんだと改めて感じた。私が生まれてくるまでにもたくさん苦労しただろうし、生まれてきた後もずっと子育て大変だったはずなのに、ここまでたくさんの愛情を注いでくれた両親やまわりの人に感謝しないとけないなと思いました。私は帝王切開だったので、自分のお腹に傷が残るかもしれないと



か、他にもたくさん心配することがあっただろうにそれでもお母さんは私を産むことを選んで頑張ってくれた。自分は将来そんなことができるのかな…と少し不安になりました。～中略～澤田さんは説明されるときにわかりやすいようにスライドや人形を使って説明してくれたり、後ろの人まで配慮してマイクを使って話してくれたりなど、よく考えていてすごいなと思った。雪でもしかすると公共交通機関がとまるかもしれないと心配しているはずなのに、わざわざ大阪まで来てくれて、私たちにお話をしてくれてありがとうございました。



- 成長する過程で、ご飯を食べるために指しゃぶりをしたり、羊水をキレイにするために、自分で掃除をしたり、誰にも教えられないのに自分で外に出るための準備をされていてすごいと思った。サポートする人も、逆子であってもお母さんも赤ちゃんも絶対死なせないという思いに感動した。死なせないために「帝王切開」などの道を選ぶ判断もすごいと思った。

プライベートゾーンのこと、自分で自分のプライベートゾーンを守らないといけないけど、もし、嫌なところを触られてしまったら「嫌!やめて」って言わないといけないから、自分もされてしまったら頑張って言おうと思った。

- 赤ちゃんだって自分とかみんなもそうだったけど、最初は 0.1 mmの小さい点から始まっていたのに、1 週間、2 週間たっただけで砂やゴマのサイズにどんどん大きくなって行って、大豆サイズになればさらに 2 倍、3 倍になるのって本当に成長のスピードが早いなと思いました。それに自分とかが子宮にいる時に掃除やおしゃぶりの練習とかをしているのが本当にすごいし、そもそも赤ちゃんが子宮で生まれるために自分でいえるようなことができるのもすごいし、生まれるのもすごい偶然が重なっていて、本当にすごいことなんだと感じた。今回はそう言ったことを知れる貴重な時間になった。

- 今回は下から生まれる赤ちゃんの事を教えてもらったけど、お腹を切って赤ちゃんのことを産む帝王切開のことも知りたいなと思いました。自分には姉が2人いて、自分を合わせると 3 人とも帝王切開で生まれてきたけど、3回もお腹を切って産んでくれた親にはすごい感謝しようと思いました。赤ちゃんは自分自身で元気に生まれるために考えてたし、親もまわりの人だったりも赤ちゃんが元気で生まれてこれるように応援し

てくれたりと、一人ひとりが考えているのもわかりました。これからはまわりの命や自分の命を大切にしようと思いました。そのためにも言葉使いや相手の気持ちなどを考えて行動したり、発言しようとして改めて思わせられました。

- 赤ちゃんを産むときにお母さんだけ頑張ってるんじゃなくて、赤ちゃんもお腹の中で生きるために生まれるために頑張ってるんだということが改めてわかりました。



人の命の大切さも、貴美子さんのお話を聞いていて、生きているだけで偉いんだなと思いました。～中略～赤ちゃんの事や人の事 | 時間でたくさん話を聞いて、今まで知らなかった赤ちゃんの生まれ方も今回知れてとても勉強になりました。



- 自分が生まれたのも、まわりみんなが生まれたのも、すごくたくさんの人のおかげなんだなと思ったし、奇跡なんだなと思った。私は帝王切開で生まれたけど、自然に赤ちゃんを産むのは大変で赤ちゃんも大変なんだなとわかった。子宮の中ですごく早いスピードで成長するのが少しうらやましいなと思った。たまに勉強とかで挫折しかけるときもあるけれど、「自分はすごいんだ!」と思えるような人になりたい。自分のプライベートゾーンを触られないように、断れるようにしたい。親と喧嘩したりするけど、自分を生んでくれたことに感謝して、あまり喧嘩しないようにしたい。この世に生まれてこれてよかったなと思った。

- 出産や赤ちゃんのことは習ったことがあったので、ほとんどは知っている内容だったのですが、改めて出産というのはお母さんが大変なだけじゃなくて、赤ちゃんも頭を使って考えてお母さんのもとに会いに行こうという気持ちがあるから出産することができるんだなと思いました。赤ちゃんは子宮の中で自分で掃除したり、いのちの道が縦向きなのか横向きなのかを考えて、からだの向きを考えながらお母さんの元に行こうとしているのを聞いて、赤ちゃんってこんなに賢いんだなと思いました、赤ちゃんはお母さんのもとに行くために | つ | つの行動を考えて行って、お母さんもその気持ちに答えようとする親子の気持ちがつながることで「出産」することができるんだなと思えることができました。今回のお話は前に習った「アンコンシャス・バイアス」にも繋がるなと思いました、出産という苦しいことをしたのはお母さんの方だから家事はお父さんがしないといかないわけでもないし、出産するお母さんの心の支えになるために育休を取ろうとしたら「男ははたらきなさい」と言われて育休を取らせてくれないということがあれば、お母さんは心細いと思うので、家族全員で出産という大事なことをすることが大事だということが、この世の中に広がればいいなと思います。

今回学んだことを日々の生活に返せるといいですね。生まれたい!と強く願って頑張った自分を誇らしく思ってください。みなさんには誰しも生きるために頑張る力があります。そんな自分を大切にしていきましょう!

